



(染田屋会長)

## 個別化教育の輪を広げるために

会長 染田屋 謙 相

全国個別化教育研究連盟の設立総会も無事終了、その活動の第一歩をふみ出しました。連盟が誕生するまでには、顧問の北澤、河野両先生はじめ、多くの方々から温かいお力添えと励ましを頂き、心から感謝申し上げております。6月30日には会場の金沢小学校に全国から500有余の方々がお集まりを頂き、「指導の個別化、学習の個性化のありかた」について熱心な研究・協議がなされ、全個教連の発足に花を添えて頂いたことは、終生、忘れ得ぬ感激でした。

連盟は今後、全国各地域の支部を中心にして、組織の拡大と、個別化教育研究の普及、情報交換につとめることになりました。理事各位におかれましては、一層のご協力を賜りますようお願いいたします。全国各地域で個別化教育の輪は大きく広がりつつありますが、それとともに個別化教育に対する疑問や批判の声も聞えてまいります。その多くは、アメリカやイギリスで行なわれているオープンエデュケーションをそのまま実施するのではないかとする疑念から出ているように思われます。プログレッシビズムに基づく教育がとすると、基礎学力の低下を招くという批判を一概に否定するものではありませんが、本連盟の提唱する個別化・個性化教育は、基礎・基本を重視し、一人ひとりの子どもに応ずる指導のありかたを探っていこうとするものであると言ってよいでありましょう。一人ひとりの子どもの学習成立を保障するものが、個別化教育と考えてよいのではないのでしょうか。したがって、基礎学力の低下は考えられませんが、また、あってはならないと思います。

いずれにしても、個別化教育によって基礎学力が身につく、個性や能力に応ずる学習が行なわれることが望ましいと思います。そして、そのことがわが国の教育の画一性、硬直性を打破していくことにつながっていくのではないかと思います。個別化教育に日夜、努力されている現場の先生がたは、実践の中からつぎつぎと、そのよさを発見するとともに、教育のむずかしさを悟っていかれると思います。その場合、多くの同志と悩みを語り合い、問題の解決をはかっていくことが大切でありましょう。個別化教育を実践に打ち込む現場の先生がたの連帯と友情の深まることを願ってやみません。(東京都板橋区教育委員会教育長)



(加藤副会長)



(ワークスペースで)

# 「個別化教育」に向って 前進しよう

副会長 加藤 幸次

ある学校に行きましたら、「生徒一人ひとりを大切にする学習指導のあり方」という研究テーマがかかげられていました。改めて、読み直してみても、実におかしな気持ちになりました。こんな研究テーマをかかげては、親が学校に“どなり込んで”くるのではないか、と思いました。まるで、この学校では、今まで生徒一人ひとりを大切にしていなかったように聞えました。

今さら言うまでもないことですが、教育は生徒一人ひとりの中に成立してこそ意味があるはずで、教師にとって、すべての生徒が大切なはずで、親の立場からすれば、どの子も“目に入れても痛くない”ほど可愛い存在です。だれ一人無視してよいわけがありません。

にもかかわらず、現実の教育をみると、必ずしも、すべての生徒に満足の行く教育を施してきた、とはいえない悩みがあります。よく知られているように、“落ちこぼれ”で行く生徒がいます。授業がよくわからないといって、やがて、非行に走って行く生徒がいます。この現実を無視できない、と思います。

くり返しますと、「生徒一人ひとりを大切にする」とことは、教育の本質です。だれ一人疑わない原理だと確信します。何か、今頃になって気づいたことに、うしろめたさを感じます。

幸い、いろいろな条件がよくととのってきました。学校の施設・設備をとっても、今日ほど、恵まれた時代はないと思います。教材・教具も、実に、豊かになりました。戦後と違い、紙は充分ありますし、コピーの技術も格段と進みました。市販教材もいくらかでもありますし、教師が教材を自作する技術もすばらしく進展してきました。その上、今後、ますます、生徒の数が減少し、クラス定員も少なくなることが期待されます。

必要なことは、わたしたち教師の意識改革です。伝統的な学習指導を見直す勇気が、今こそ、必要だと思います。そして、教育実践に対する情熱と努力です。時間やエネルギーなしに、どうにもなりません。

わたしたち「全国個別化教育研究連盟」の会員は、「生徒一人ひとりを大切にする」という教育の本質に向って、努力して行きたいと思えます。この道こそ今後の教育の方向に違いない、と確信しています。

(国立教育研究所 主任研究官)



# 個別化教育発会に思う

副会長 伊藤 一郎

去る6月30日は、個別化教育連盟の記念すべき発会式でした。私も午前中、短時間でしたが、板橋区立金沢小学校の先生方の授業を参観させていただきました。

6年生が「縮図・拡大図」の算数学習をしていました。最終段階で、パソコンに自分の測定した数値と、計算結果を入れると「せいかいです」とか「おおきすぎます」等の表示が出てきます。子ども達は、沢山の参観者がいても、その正誤の表示に何等わるびれるところなく、自分の課題の解決に更に突き進む様子が見られました。

今日、教育は冬の季節にあり、中学生の非行とか、問題行動は、まだまだ沈静化してきたとは申せません。この原因とか対策等が、いろいろ論じられ、発表されていますが、その中でも、最も重要な一つは、「授業」にあると考えます。しかも、子ども達はひとりひとり個人差があるという、明確な認識にたつ授業にあると思えます。この平凡なことが大切なわけで、個別化教育連盟の将来への期待は大きなものがあると考えます。

皆さん共々、大いに努力して盛り上げましょう。

(東京都目黒区教育委員会教育長)

# 待望の全個教連発足をよろこぶ

岐阜県揖斐郡池田小学校長 松岡 勝治

全国個別化教育研究連盟の盛大な発足を心から喜ぶものであります。私達は全国各地にあつて、さまざまな地域の実態に立ち、物的にも心的にも異なる条件の中で教育実践を進めています。まさに悪戦苦闘の日々であります。でも、教育の現状をふまえ、将来の洞察に立って一人ひとりの個性能力の伸長を図り、生涯にわたる自己教育力を培い豊かな人間性自主性創造性育成のために、学習を子どもにかえし個に最適な教育を実践することは、学校現場の喫緊の課題であるだけに教育道を歩む私達にとって最大の喜びであります。

全個教連発足を機に金沢小学校に学びこれから全国の会員の皆様と相携えて指導の個別化・学習の個性化の実践交流ができる共通の足場をもったことは本当に素晴らしいことであります。私見であります。年に何回かは子どもの学習の姿を通して研究会をもち、実践交流をして、学習材の開発・教育経営理念・組織等一つでも裨益し合い高め合っていきたいと切に願うものであります。

私どもも加藤先生のご指導を頂いて5年目を迎えました。来る11月30日(金) 全国の皆様にご参加いただいて、第2回の発表会を持ちたいと存じております。追って案内をさしあげます。ぜひご来校ご指導を賜りますようお願い致します。 ありがとうございます。

## 意を強くしました

愛知県海部郡弥富町立弥富北中学校

奥山 修

「個別化教育」にとりくみだして日も浅く、不安を覚えながら試行錯誤のくり返しで実践を積み重ねています。そんな中で、第1回全国個別化教育研究大会に参加させていただき、とても意を強くしました。全国に多くの仲間がいることを知らされたことと、授業等を参観させていただき、私の実践もまちがった方向には進んでいないということを確認できたからです。

私は、数学科で完全習得学習を試みっていますが、学習材の開発等、準備がたいへんで、何度も挫折しかかったことがありました。そんな中で、一斉画一授業だけの指導では、どこがわからないのかもわからず、授業中ぼんやりしていた生徒でも、能力差に応じたシート学習を取り入れてからは、自分のわからないところがはっきり認識できるようになって、「僕は、ここがよくわからないんだ。」「私は、ここが苦手です。」と、むしろ得意になって言えるようになる姿を見て、それだけを励みにがんばってきました。それでも、知識や技能の定着度は高まっているだろうかと不安な材料は残るのですが、研究大会での熱海先生の御講演をうかがって、私の励みとしていたことが、「個別化教育」の大きな成果のひとつであることを知って、今後の実践、研究に大いに意欲を燃やしているところです。

## 金沢小の研究に学ぶ

北海道教育大学附属中学校 八木 修一

金沢小学校に一步足を踏み入れて驚いたことは、すべての床面がカーペット敷きのソフト床になっていることでした。そして、廊下の幅が広く、そこにはコンピューターあり、VTRあり、チェックカードや学習カードが入っているケースありで、教室とともに学習活動ができるようになっていることでした。さらに、教室に入って驚いたことは、机の配置に工夫がされていたことでした。コの字型あり、グループごとに集まっているものあり、一人机ありで、その向きも窓向き、廊下向きなどさまざまでした。この素晴らしい環境や工夫をどう授業で生かし、指導の個別化と学習の個性化を図るのか、注目しながら授業を参観させていただきました。

五年生の算数では、「三角形と四角形の面積の求め方」について学習していましたが、たくさんあるケースの中からある者は学習カードを引き出し、ある者はヒントカードやチェックカードを用いて、そしてある者はVTRを自分で操作し、もう一度、底辺と高さの関係を調べていました。教室の中には、相談コーナーが設けられ、教師が相談を持ち込んできた児童にアドバイスをしていた姿が印象的でした。いずれの授業も児童はワークスペースを十分に活用し、自分にあった方法で自ら学習しており、その真剣な顔は、今でも忘れられません。

本校も「個性を生かした教育」に取り組んで2年目になります。今回の研究会で、すすむ道に意を強く致しました。

## 個別化・個性化の花ひらく——大会レポート——

6月30日、東京地方に大雨警報が出されていた前日までの豪雨はうそのよう、朝から久しぶりの太陽が顔をのぞかせている好天に恵まれた。校庭の緑がまぶしいほどの輝きを見せとても美しい。いや、それよりも、多くのお客様を迎えるPTA父母の方々、金沢小学校の先生方の顔が実に晴ればれとしている。

受付・案内・下足の世話・荷物預り・接待・それに校外の案内まで、PTAのお母さんたちが緊張しながらも実に明るく整然としかもこまねずみの如く働いている姿に圧倒された。あるお母さんにうかがってみた。

“日ごろの先生方のご努力にお報いしたいの一念です。”役員、委員の方々だけでなく、一般のお母さん方100名がグループを組んで仕事をしているとのことである。この光景からも、学校と家庭との連携の姿がしのばれる。学校を信頼している協力の営みは実に素晴らしいものである。

校舎に足を踏み入れる。あちらこちらからカメラのシ

ャッターの音が聞かれる。カーペットが敷きつめられたソフト床、壁面の見事なデザイン、マルチパーパス、ワークスペースなどにフラッシュの閃光が浴びせられていく。校舎の機能の更新を考え、教育の場の創造を願う参会者の意識の表明をそこに見る感じがする。

子どもたちがみんな明るくのびのびしているのに驚かされる。お客様に対するあいさつが実にすがすがしい。徳性の基本が身につけているのはあいさつに限らない。持ち物の整とんから、便所のサンダルの揃え方まで実に整然としている。平業の積み重ねの指導の徹底ぶりをそんな場面でも肌感じられるのである。

“ちょっと恥ずかしいけれど、うれしい。”

“緊張しちやいそうで心配です。”

感想をたずねるインタビューに明るい笑顔の中から歯ぎれのよい子どもたちの声のはねかえってくる。先生方も、忙しいであろう筈なのに、子どもたちとの会話が実にいいのである。個別化の精神が授業以外の会話の中

に浸透している姿勢に、さわやかな感銘を受ける。

午前10時、いよいよ公開授業の開始である。1年の社会科では、校庭の施設や道具など“みんなでつかうもの”の観察、教室での絵図の作成に個別化が取り入れられている。“これが1年生?”の驚たんのささやきが参観の先生の口からもれる。事実、どの子どもも課題の対話以外の会話はなく、黙々と、しかも喜々として作業に取り組んでいる。学習意欲の旺盛な場面をつぶさに見た。

興味・関心のうずまく授業が2学年の理科で展開されていた。“水にとけるもの”では材料を個々に、しかも豊富に準備されている。机の配置の工夫、ワークスペースの利用等により、子どもたちが理科室での実験以上の活動をしている。学年のどの先生とも気軽に相談したり実験の経過を話しかけたりできる課題別グループ編成の学習形態の効用を目のあたりにした。

3年理科“かがみと虫めがね”の学習は、中庭と第2オープnrームで行われていた。ひとりひとりの子どもに学習カードを持たせ、課題を絶えず意識化させる意図がうかがえ、子どもの歓声・驚たんの声に参会の先生方もうっとりさせられた授業風景である。“教材研究がたいへんでしょうね”こんなささやきは、授業を構成し、見事に展開する先生方への畏敬のささやきであろう。

TPシート、カラーボード、VTRなど機器を適切に生かした授業を4学年の算数に見た。“うーん、これならよく理解させられるな!”うなって感心する先生。

5年は学級ごとに算数・国語・社会の授業が行われている。学習カード、ヒントカード、チェックカード、学習の手びきなど創意工夫がなされ、子どもたちのノートをカメラに収めるフラッシュがまぶしい。国語授業の中からのスナップ。「やった」ととび上がる子、「この答えしかないはずだ」熱気にあふれる光景である。

つまりき別に役割分担して個別指導の強化、能率化をはかっている6年生の算数の授業。ワークシート、学習計画書、作図用紙など学習を促す補助教材の利用のほか、パソコンを駆使する子どもたちの手ぎわのよい操作に、参観の先生方の人垣ができています。“この学校の子は幸せだなあ”のささやきがあちこちからもれている。

学年ごとの学習材の整理も参観者の関心を集めている。“いやあ、実にすばらしかった”“感服しました。さすがは金沢小です。”“東京もやるね”感想の一部である。

午前10時55分、研究発表会・研究協議会が始まった。板橋区教育委員会教育長染田屋謙相先生の、新しい授業の創造・個人差に応じた教育の必要性、個別化教育の重要性に触れたあいさつ、板橋区教育会長福田安夫先生の個別指導実践に感銘を受けた感想、全国個別化教育連盟が板橋の地で誕生するよろこびを述べたあいさつに続き研究発表となる。本日の発表会に至る研究経過報告では学年の協力の重要性が語られ、マスタータイム・オープントイムの状況説明のあと、授業改善の基本的考え方が

披露された。個人差のとらえ方、指導法の工夫など苦心の研究の積み重ねがOHPによって明確に説明され、参会の先生方のベンがさかんに動いている。

次いで研究協議会に入る。上板橋第二小坂田校長の明快な司会により、個別化をすすめる上での問題点、ひとりひとりを高める教師の考え方、地域への啓蒙の方策、子どもたちの変容をどうとらえるか等、活発な質疑と確固たる応答が続けられた。特に学習教材の開発にあたってのポイントなど貴重な説明で協議は高潮した。加藤幸次先生から現代の学校教育はこれでいいのか、何とかしなければ…という悲痛の叫びに満ちた講評、都教委・島津忍主任指導主事先生及び板橋区教委指導室長松澤剛先生の講評のあと、金沢小松崎二葉校長より、模索の喜び苦しみの体験、学校の伝統への思いをはせたこと、志を同じくする多くの方々への謝辞で午前の個別化教育研究発表大会を終えた。



コールブルニエと名づけられたママさんコーラスは、その名の通りフランス料理にも似て格調が高い。PTAのお母さん方の手づくりのカレーライスをはおぼりながら数々の名曲を楽しむユニークな昼の休憩風景である。

午後0時40分全国個別化教育研究連盟設立総会の開幕。嶋根編集部長の開会の言葉、加藤幸次先生より発起人代表のあいさつのあと、木下研究副部長が議長に選出され議事にはいる。松崎事務局長の一括提案が万場の拍手で承認され連盟が誕生したのである。役員代表としてあいさつに立った染田屋会長の言葉の一言ひとことに設立までの労苦と誕生の喜びがしのばれ、会員の胸を打つものが感じられた。高木理事の開会の言葉で設立総会がとどこりなく終了したのである。

北は北海道、南は沖縄に至る文字通り全国から参会された先生方、本当にご苦労さまでした。それにしても、450名に及ぶ参会者に関係者一同の喜びは大きく、今後の責任の重大さをかみしめている。

このあと文部省初等中等教育局小学校課長熱海則夫先生の記念講演会があった。

(編集部梅川)

# 記念講演の要旨「今日の学校教育の課題」

文部省初等中等教育局  
小学校課長

熱海 則夫先生



(熱海 課長)

## I はじめに

先生は、臨教審の動きにからめて、全国個別化教育研究連盟の設立が、きわめて意義深いものであると、まず述べられた。つづいて中教審の審議経過報告にふれられ、きょうは、おおむね、これを中心に話しをするとの意図の表明があった。

## II 中教審の審議経過報告の概要の紹介

1. 「自ら考え正しく判断する子どもの育成」に対応する人間像として、「物事に柔軟にかつ主体的に対応できる人間」ということをとりあげている。
2. この子ども像をめざす教育の重点として
  - (1) 自己教育力を育てる教育
    - ア. 学習意欲
    - イ. 学習の方法
  - (2) 基礎・基本の徹底
  - (3) 個性や創造性の伸長
    - ア. 教え込み型からの脱皮
  - (4) 文化の伝統の尊重が、とりあげられている。
3. 4つの重点のほかの具体的な課題
  - (1) 義務教育の見直し
    - ・画一化の問題・教育内容の完結性
    - ・教育内容の多様化・弾力化
    - ・小学校低学年の教科構成の問題
    - ・個別指導・グループ指導の積極的な取り入れ
    - ・体験的学習の強化
    - ・補充指導のシステム

## III 当面の課題

つづいて先生は、上記をふまえての当面の課題として次の3点について熱心に説かれた。

1. 特色ある学校づくり
  - ・教育改革の審議過程において、画一化、硬直化についての質問が多い。文部省としては従来から個性的な学校、特色ある学校を提唱している。
  - ・学校の教育目標に明らかにして、カリキュラム化の必要がある。
2. 魅力ある学校づくり
  - 子どもにとって魅力のある学校の運営をしてほしい。
  - ・人間性が大事にされる学校
  - ・外に開かれている学柿
  - ・子どもたちを多面的に見る学校
  - ・適切な表彰をする学校
  - ・カリキュラムの改訂をする学校
    - カリキュラムの生活化
    - 直接経験・体験の重視・適時性のあるしつけ
    - カリキュラムの総合化
    - カリキュラムの重点化
3. 学習指導の改善
  - ・主体的な学習態度の育成
  - 自己評価の導入
  - 子どもの活動性の確保
  - 学習集団の人間関係の重視
  - ・個人差に応じた指導
  - 事例集の活用
  - 指導パターンの変革
  - 教育内容の柔軟化・多様化

以上

熱海先生の記念講演は、全個教連の提唱する個別化・個性化教育の研究推進や教育実践に貴重な指針となりました。このご示唆を今後の研究・教育実践に生かしていきたいと思っております。なお、記念講演は長文の記録となりましたので、紙面の都合によりその要旨のみの掲載となりましたこととお詫びいたします。

(編集部 大谷ほか)

# 全国個別化教育研究連盟会則

## 第一章 名 称

第 1 条 この会は、全国個別化教育研究連盟と称する。

## 第二章 目 的

第 2 条 この会は個別化教育の発展と普及に貢献し、研究遂行上必要な連絡と協力をひろく求めることを目的とする。

## 第三章 事 業

第 3 条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会員相互の研究、実践上の連絡と協力の推進。
2. 研究発表会、研修会等の開催。
3. 会報、紀要等の刊行。
4. 関係機関、団体との連携。
5. その他この会の目的達成に必要な事業。

## 第四章 方 針

第 4 条 この会は非宗教的、非政党的であって、教育研究を本旨とする自主的団体として活動する。

第 5 条 地域ごとに支部を結成して、支部単位の活動を行うことができる。

## 第五章 会 員

第 6 条 この会の目的に賛同し、個別化教育の研究、実践に従事するものまたは賛助するものをもって会員とする。

会員は団体会員と個人会員と賛助会員とする。

第 7 条 会員はこの会の行う事業に参加することができる。

第 8 条 会員は会費を負担するものとし、会費は団体会員は年額 5,000円、個人会員は年額 2,000円、賛助会員は年額 5,000円とする。

第 9 条 会員は会費納入を怠った場合、会員としての取扱いを受けないことがある。

## 第六章 役 員

第 10 条 この会の事業を運営するために、次の役員をおく。役員は個人会員のうちから選ぶ。

- (1) 会長 (1名) (2) 副会長 (若干名) (3) 理事 (若干名) (4) 事務局長 (1名)  
(5) 幹事 (若干名) (6) 監査 (2名) (7) 顧問 (若干名)

第 11 条 役員の出選は、理事会において行い、総会の承認をえて決定する。顧問は総会の承認をえて委嘱する。

第 12 条 この会の役員任期は2年とし、留任を妨げない。但し顧問はこの限りでない。

## 第七章 会 議

第 13 条 総会は、この会の最高議決機関であって、年1回これを開き、この会の重要事項を審議決定する。

第 14 条 理事会は会長、副会長、理事によって構成され、会の重要事項を審議する。

第 15 条 幹事会は、会長、副会長、事務局長、同次長、幹事によって構成され、会の実務の推進に当たる。

## 第八章 会 計

第 16 条 この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

第 17 条 この会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり、翌3月31日におわる。

## 第九章 事 務 局

第 18 条 この会は会務の推進と連絡調整のため、事務局を会長が指定する所におく。

第 19 条 事務局には、事務と事業推進のために次の部をおく。

- (1) 庶務部 (2) 会計部 (3) 研究部 (4) 研修部 (5) 組織部 (6) 編集部

## 付 則

第 20 条 本会則の変更は総会の決議による。

第 21 条 この会の運営に必要な細則は理事会が定め、総会に報告する。

第 22 条 本会則は、昭和59年6月30日より有効とする。

# 全国個別化教育研究連盟役員組織

59. 6. 30.

顧問	東京都立教育研究所長	北澤 弥吉郎	理事	静岡県島田市教育委員会教育長	高橋 聞一
"	お茶の水女子大学教授	河野 重男	"	静岡県島田市立初倉小学校長	荒木 直治
会長	東京都板橋区教育委員会教育長	染田屋 謙相	"	愛知県東浦町教育委員会教育長	高木 省三
副会長	東京都目黒区教育委員会教育長	伊藤 一郎	"	愛知県東浦町立緒川小学校長	新美 一成
"	国立教育研究所主任研究官	加藤 幸次	"	愛知県弥富町立弥富北中学校長	服部 久和
理事	北海道教育大学附属釧路小学校副校長	大竹 正	"	神戸大学教育学部附属住吉中学校長	松島 健良
"	北海道教育大学附属釧路中学校副校長	豊島 弘道	"	神戸大学教育学部附属住吉中学校副校長	小東 敏良
"	帯広市教育委員会教育長	伊賀 光	"	香川大学附属坂出中学校副校長	久利 文男
"	帯広市立明星小学校長	村田 順之助	"	福岡県教育庁指導第二課指導主事	荒木 隆雄
"	札幌市立丘珠小学校長	田元 誠	"	福岡県久山町立久原小学校長	前崎 敏雄
"	東京都板橋区教育委員会指導室長	松澤 剛	"	沖縄県具志川市教育委員会教育長	安田 政登
"	東京都板橋区立金沢小学校長	松崎 二葉	"	沖縄県具志川市立中原小学校前校長	平良 專僊
"	富山県福光町教育委員会教育長	森田 清作	事務局長	東京都板橋区立金沢小学校長	松崎 二葉
"	富山県福光町立福光中部小学校長	杉本 博	幹事	別表 事務局員	
"	岐阜県池田町立宮地小学校長	岩間 隆義	監査	東京都板橋区立金沢小学校前校長	山本 正志
"	岐阜県池田町立池田小学校長	松岡 勝治	"	東京都目黒区立富前小学校長	行徳 高德

# 全国個別化教育研究連盟事務局組織

59. 6. 30.

事務局次長 松清水 二葉昭 (金沢)	庶務部	部長	小鷹 明夫(上四)	
		副部長	奥田 實(金沢)	橋本 治典(板三)
		"	佐藤 武男(若木)	
	会計部	部長	新井 久(板一)	唐木 進(志四)
		副部長	松山 雄一(上板)	
		"	佐藤 恵哲(志四)	
	研究部	部長	坂田 鳩(上二)	高田 惇(志三)
		副部長	木下 靖正(赤塚)	田中 清介(成増)
		"	中村 満洲男(志一)	
	研修部	部長	加藤 一夫(板六)	増田 和彦(指導室)
		副部長	倉上 保(赤塚新町)	新田 豊作(板三)
		"	大原 満夫(若葉)	
	組織部	部長	田村 邦太(北野)	
		副部長	岩木 重夫(北前野)	渡辺 茂(志村坂下)
		"	笠原 春雄(志村坂下)	
	編集部	部長	嶋根 欣一(志六)	
		副部長	梅川 三郎(三園)	渡辺 欽一(高五)
		"	三谷 恭平(上二)	大谷 清子(常盤台)

# 昭和59年度事業計画案

# 昭和59年度予算案

1. 組織の拡充
  - (1) 支部組織を地域ごとに作る。
  - (2) 会員募集に協力する。
2. 研究・研修活動の推進
  - (1) 実践研究論文の募集
  - (2) 支部単位の研究活動の推進
  - (3) 研究資料紹介
3. 会報の発行
  - (1) 2号(7月発行の予定)
  - 3号(11月発行の予定)
  - 4号(3月発行の予定)
4. その他

収入

項目	予算額	備考
会費	330,000	個人 2000×120 団体 5000×18 賛助 5000×0
補助金	0	
雑収入	2,000	利子・その他
合計	332,000	

支出

款	項目	予算額	備考
事業費		170,000	
	総会費	20,000	
	研究・研修活動費	30,000	
	広報活動費	50,000	
	研究発表会費	30,000	
	渉外費	20,000	
	会議費	20,000	
事務費		150,000	
	印刷費	100,000	
	通信費	30,000	
	消耗品費	20,000	
予備費		12,000	
合計		332,000	

注：会員数が増加した時点で補正予算を組みます。

## 事務局だより

### 1. ご参会ありがとうございました。

6月30日の設立総会には、北から南から、多数ご参会いただき、おかげさまで、所期の成果を収めることができました。その概要は、本紙に集録しました。不十分な点もありませんが、ご海容のうえ、お読みとりいただければ幸いです。

### 2. 加入者急増中。

6月30日には、多数の方にご加入いただきました。たいへんありがとうございました。59. 8. 1現在の個人会員数は、約200名です。

会員の方々が、いろいろな機会に、ご勧誘いただくことを期待しております。

### 3. 個人会費は、2000円に決定

本紙P. 6所載の会則の第8条のように、個人会費は、2000円になりました。本年度会費3000円の内金ということで、2000円お納めになった方々は、残金1000円のご納入については、その必要がなくなったわけです。

### 4. 支部の結成を

連盟の性格上、各地域に、「〇〇支部」を作り、支部ごとの活動をさかんにしていただくことが、たいへんよいと存じます。

理事の先生を中心に、地域ごとに、結成していただきませんか。支部組織をどうするか、会費をいくら集めるか、どんな活動をするか等について支部としてののすべをおまかせします。

連盟会費を、3000円から2000円に値下げいたしました

のは、じつのところ「支部会費1000円」という動きも生ずるかと思っております。

### 5. 11月30日(金)には、池田小へ。

岐阜。池田小の研究発表会が、同封案内状のとおり開催されます。

全個教連事務局といたしましても、バックアップしたいと存じております。ふるって参加いたしましょう。

### 6. 各地の動きを、お寄せください

いつ、どこで、なにが行われるか、できるだけ早く、ご一報ください。

連盟としての対応を、可能なかぎりいたしたいと存じます。支部結成の動き、学校としての研究発表等、その予定・経過・成果等を、本紙を通じて周知したいと存じます。(次号は、3学期に発行の予定)

### 7. 名簿の必要な方、ご請求ください

会員名簿の原本は、できています。ご希望があれば、コピーしてお送りします。(いずれ、周知したいとは思っていますが、急には印刷いたしかねますので。)

### 8. 連盟へのご用は……

お問合わせやご助言は

〒173 東京都板橋区加賀2丁目2番1号

板橋区立金沢小学校

電話(03)964-3068(校長室)

全国個別化教育研究連盟事務局長 松崎 二葉

加入手つづきは

〒174 東京都板橋区小豆沢4-13-1

板橋区立志村第四小学校

電話(03)966-3542

全国個別化教育研究連盟事務局次長 清水 昭